

静岡県内15市町の首長が遊砂地施工現場を視察！

砂防、地域と共に。

— Never forget 紀伊半島大水害2011 —

R8. 9. 18

- 8月28日（金）に直轄砂防事業における対策状況を現場見学し、知見を広げていただくことを目的として、全国治水砂防協会静岡県支部に所属されている静岡県内15市町（※）の首長が那智川管内を視察されました。
 - 和歌山県土砂災害啓発センターの木村所長より、土砂災害啓発センターでの啓発活動の取り組みについて説明いただいた後、紀伊半島大水害による和歌山県内の被災状況や、那智川流域管内での直轄砂防事業の対策について説明を行いました。
 - その後、整備が完了している鳴子谷川^{なるこだに}および^{うち}内の川の砂防堰堤を見学いただき、最後に那智川本川上流遊砂地の施工現場にも足を運んでいただきました。
 - 世界遺産に配慮し、那智川管内で継続的に取り組んでいる「修景工」に、特に皆さん関心を寄せられておりました。
- （※） 富士宮市、伊豆市、森町、南伊豆町、伊東市、東伊豆町、小山町、沼津市、島田市、牧之原市、河津町、松崎町、西伊豆町、
函南町、清水町（順不同）
^{もりまち} ^{みなみいずちよう} ^{ひがしいずちよう} ^{おやまちよう} ^{かわづちよう} ^{まつざきちよう} ^{にししいずちよう}
^{かななみちよう} ^{しみずちよう}

【概要】

日時：8月28日（金）13：30～15：00

場所：和歌山県土砂災害啓発センター、那智川本川上流遊砂地現場

参加者：静岡県内15市町の首長、全国治水砂防協会理事長、
静岡県交通基盤部部長、静岡県内土木事務所長2名ほか



土砂災害啓発センター木村所長による紀伊半島大水害の説明

修景工とは・・・

世界遺産登録地という地域性を考慮し、
那智川流域の代表的景観である石積みが多く活用されている景観との調和を図る目的で、
現場で採用しているアンカー付石積護岸や
修景パネルを指しています



【いただいた感想】

砂防施設の整備中において、突発的な出水による施設の被災への対応など、難しく厳しい環境下で事業されていることがよく分かりました。
修景工は今後の参考としたい。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL 0747-25-3111（代）

